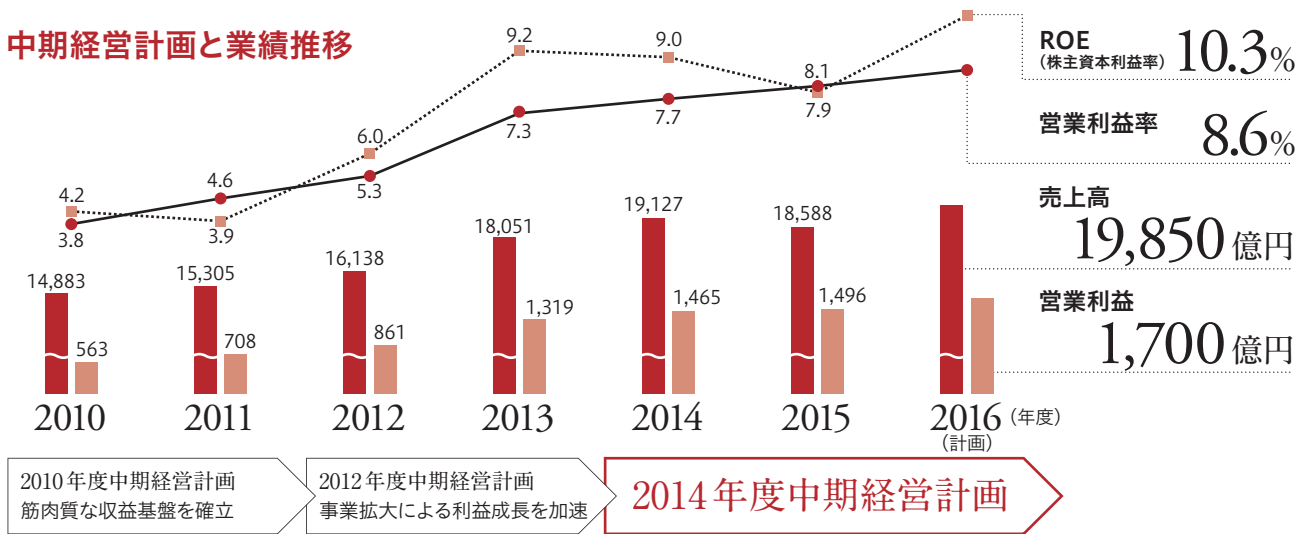


中期経営計画とCSV戦略

「住」を基軸とした成長戦略

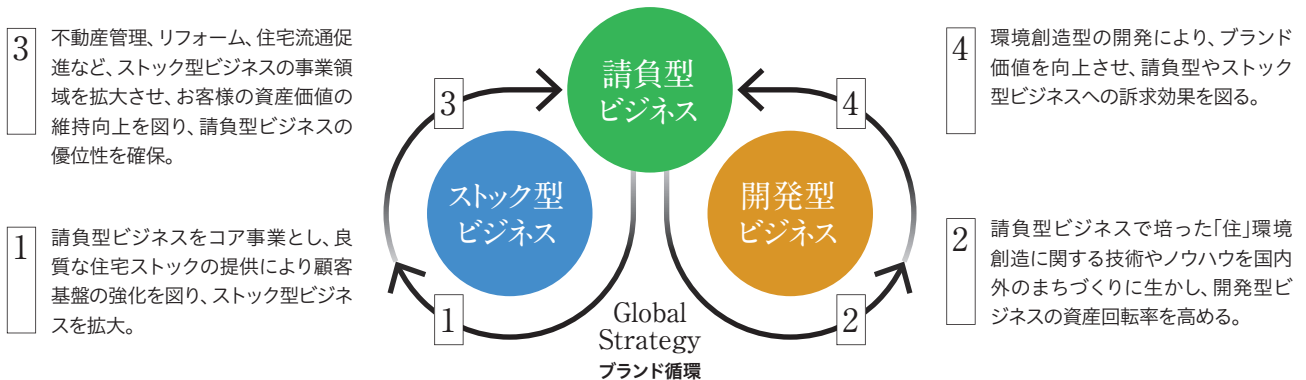
積水ハウスグループでは、住宅は社会課題の中心に位置するととらえ、持続可能性を基軸に据えたCSV(Creating Shared Value=共有価値の創造)経営を実践しています。
その柱は「事業ドメインを住に特化した成長戦略の展開」です。
具体的な戦略と進捗状況は中期経営計画などで開示しています。

中期経営計画と業績推移



2014年度中期経営計画の基本方針

グループシナジーの強化による「住」関連ビジネスの新たな挑戦



2014年度中期経営計画の進捗

2015年度は、中期経営計画に則り、ブランドビジョン「SLOW & SMART」と上記基本方針「グループシナジーの強化による『住』関連ビジネスの新たな挑戦」のもと、グループ全体で住宅、住宅関連ビジネスを拡大し、新規開拓を図りながら事業を展開しました。

請負型ビジネスで戸建住宅が2014年度の受注減の影響を受け、売上高は当初計画を下回りましたが、グループ

力を生かした利益体質強化、不動産フィー事業・分譲住宅事業・マンション事業などの寄与により、営業利益は3期連続で過去最高を更新しました。

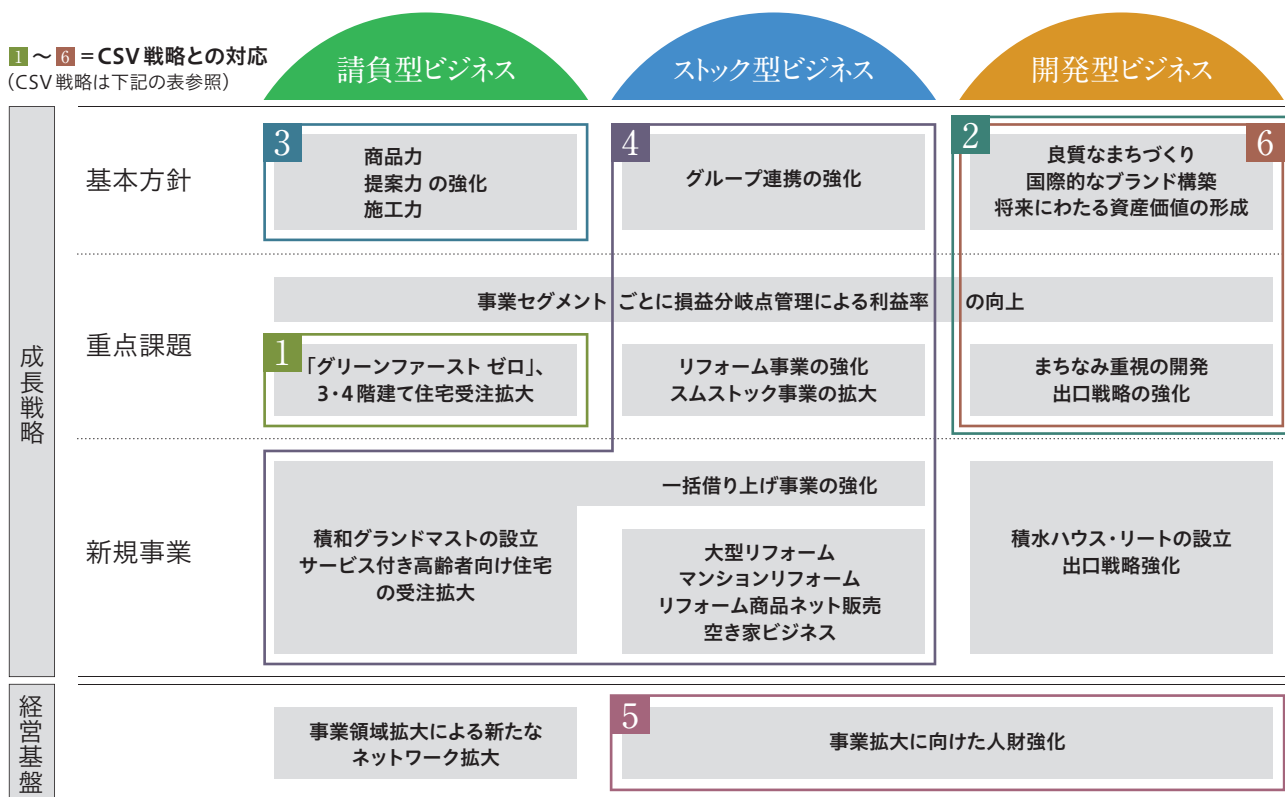
「グリーンファーストゼロ」、3・4階建て等の高付加価値住宅、大型リノベーションや一般リフォームの受注が進み、中期経営計画最終年度の2016年度は計画値を達成し、過去最高の売上高・営業利益を更新する見込みです。



本報告書では重点的に取り組む六つのテーマを選定し、「CSV戦略」として位置付け、活動のさらなるレベルアップを図っています。CSV戦略はGRIガイドライン(G4)の特定標準開示項目から選定した19のマテリアルな側面を中期経営計画に沿って具体的な活動レベルに束ねたものです。これらの関係性を以下に示します。

2014年度中期経営計画の事業方針とCSV戦略

1～6 = CSV戦略との対応
(CSV戦略は下記の表参照)



CSV戦略とG4のマテリアルな側面

	CSV戦略	特定したG4のマテリアルな側面との相関
1	住宅のネット・ゼロ・エネルギー化 エネルギー問題に制約されない質の高い暮らしを実現し、環境配慮とお客様の健康長寿に貢献	●環境: エネルギー ●環境: 大気への排出 ●環境: 製品およびサービス
2	生物多様性の保全 事業の影響を考慮し、持続可能な自然資本の利用によって生態系ネットワークを守る	●環境: 生物多様性 ●環境: サプライヤーの環境評価 ●経済: 調達慣行
3	技術開発・生産・施工品質の維持・向上 「最高の品質と技術」により、お客様の最大の満足を実現	●製品責任: 顧客の安全衛生 ●製品責任: コンプライアンス ●労働慣行: 労働安全衛生
4	アフターサポートの充実による住宅の長寿命化 グループ各社の連携によって、お客様の暮らしを長期にわたりサポート。住まいの価値向上と資源循環につなげる	●環境: 排水および廃棄物 ●環境: 製品およびサービス ●製品責任: 顧客の安全衛生 ●製品責任: コンプライアンス ●製品責任: 製品およびサービスのラベリング
5	ダイバーシティの推進と人材育成 多様な人材の可能性を引き出し、互いを尊重しながら高付加価値を生み出す「持続可能な企業集団」を目指す	●労働慣行: 多様性と機会均等 ●労働慣行: 労働安全衛生 ●労働慣行: 研修および教育 ●労働慣行: 雇用 ●人権: 投資
6	海外への事業展開 高品質で持続可能な住まいづくり・まちづくりを広げ世界の安全・安心・快適な暮らしと地球環境保全に貢献する	●環境: エネルギー ●環境: 生物多様性 ●製品責任: 顧客の安全衛生